

《新闻话语》BSE (牛海绵状脑病)

重新进口牛肉与再次禁止

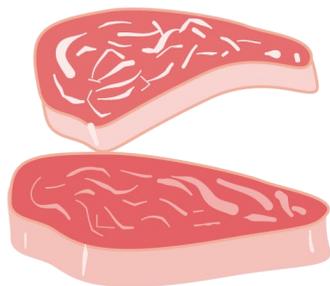
2003 年 5 月及同年 12 月，鉴于加拿大和美国相继发生了 B S E，日本政府决定禁止从美国・加拿大进口牛肉等（牛肉、牛内脏及牛肉馅）及其加工品（牛肉干儿、香肠等）。去年 12 月 12 日，牛肉获准在恪守一定条件的前提下，得以重新进口（注 1）。而此条件即为“剔除特定危险部位（注 2）”和“进口的牛肉，必须是来自小于 20 个月龄的牛”两项。

另外，重新获准进口的牛肉产品中，不包括牛肉馅和牛肉等的加工品。

（注 1）欧盟各国（英国、德国、法国、意大利、爱尔兰等 15 个国家）等，至今仍然坚持采取禁止进口牛肉的方针。

（注 2）所谓“特定危险部位”是指牛脑、牛脊髓、牛眼以及小肠的一部分。另外从 2004 年 2 月 16 日起，包括脊背神经节在内的脊梁骨（胸椎・腰椎横突、腰椎骨椎板及尾椎除外）也被列入了“特定危险部位”。

另外，作为与此类似的专用语，在针对牛海绵状脑病的特殊措施法案中还有“特殊部位”〔牛头（舌头及腮肉除外）〕、脊髓及回肠（从与盲肠相接的部分算起 2 米以内的部分）的规定。



《ニュースの言葉》BSE (牛海绵状脑症)

牛肉輸入の再開と再停止

2003 年 5 月にカナダで、また、同年 12 月に米国で BSE の発生が確認されたことに伴い、日本政府は、米国・カナダ産の牛肉等（牛肉、牛内臓及び牛挽肉）とその加工品（ビーフジャーキー、ソーセージなど）の輸入を禁止していましたが、昨年 12 月 12 日、一定の条件の下に輸入が再開（注 1）されることとなりました。その条件とは、「特定危険部位（注 2）を除去すること」と「月齢 20 ヶ月以下の牛に由来するものであること」の二つです。

なお、輸入再開の対象には、牛挽肉と加工品は含まれていません。

（注 1）EU 諸国（英国、ドイツ、フランス、イタリア、アイルランドを含む 15 ヶ国）等からの輸入禁止措置は引き続きとられている。

（注 2）「特定危険部位」とは、脳、せき髄、眼、小腸の一部などをいう。2004 年 2 月 16 日からは、背根神経節を含むせき柱（胸椎・腰椎横突起、仙骨翼及び尾椎を除く。）も含まれることとなった。

なお、これと類似の用語として、牛海绵状脳症対策特別措置法に規定されている「特定部位」（牛の頭部（舌及び頬肉を除く）、せき髄及び回腸（盲腸との接続部分から 2 メートルまでの部分に限る。））がある。

ところが、それから僅か 1 ヶ月後の本年 1 月 20 日、輸入された米国産牛肉から除去を義務づけられていた特定危険部位（せき柱）が混入していたことが判明しました。このため日本政府は、米国産の牛肉等の輸入を再び禁止する措置をとりました（注 3）。

可是,美国牛肉在重新获准进口仅仅一个月之后的 2006 年 1 月 20 日,在运至日本的美国牛肉中,发现参杂了属于规定必须剔除的危险部位(脊梁骨)。为此,日本政府再次采取了禁止进口美国牛肉等的举措(注 3)。

(注 3) 此次事件对于加拿大牛肉的进口事宜,没有任何影响。另外,据厚生劳动省透露,自牛肉获准再次进口以来,已有 1, 3 7 3 吨美国牛肉进入了国内。

如此这般,正当国民对美方监察体制的松顿和疏漏所表示出来的愤怒与指责声日渐高涨之时,今年 1 月 30 日召开的众议院预算委员会上,又有新的事实曝光。即去年 12 月 18 日的内阁会议上,政府在围绕民主党的质询所进行的答辩中表示,“若是重新批准进口美国牛肉等的话,我们考虑有必要在正式进口以前、及正式进口之后,定期地派遣负责官员…前往美国进行实地调查”。尽管如此,事实上美国牛肉在已重新进口后的 2006 年 12 月 13 日~24 日间,日本才向美国·加拿大派遣了监察团。围绕中川农业水产大臣就此问题所作的答辩,众议院预算委员会因此发生了不得不使会议间歇性中断的事态。同时,相应于美方粗陋马虎的做事态度,对出于讨好美国这一目的而急于重开进口的日本政府,人们的不满与指责之声也越来越大。

何谓 BSE(牛海绵状脑病) ?

“BSE(牛海绵状脑病)”,是发生在牛身上的疾病、最早在 1986 年出现于英国。一种叫做变异型朊粒蛋白的特殊性蛋白质,在牛中枢神经组织里缓缓积蓄(潜伏期为 3~7 年的左右),最终引发牛神经过敏症、动作异常、麻痹及无法坐立等症状,并导致牛于发病后两个星期至六个月之间死亡。据说由于感染这种疾病的病牛脑组织,会呈现出海绵状的变异,于是这种疾病便被命名为“牛海绵状脑病”。另外一般情况下,人们

(注 3) 今回の事件によりカナダ産の牛肉等の輸入に影響はない。また、厚生労働省によると、輸入再開から本年1月19日まで1, 373トンの米国産牛肉が既に輸入されている。

このように米国側のチェック体制の甘さに対する怒りと批判が高まる中、本年1月30日の衆議院予算委員会の場で新たな事実が判明しました。それは、昨年12月18日に閣議決定された民主党政員の質問に対する政府答弁書では、「米国産牛肉等の輸入を再開することとなった場合には、輸入再開以前に、また輸入再開後も定期的に、担当官を派遣して…現地調査を実施することが必要と考えている」としていたにもかかわらず、実際に米国・カナダへの査察団が派遣されたのは輸入再開後の同年12月13日~24日であったということです。この点に関する中川農水相の答弁を巡って、同委員会が断続的に中断する事態となりました。米国側のずさんな対応とともに、米国に対する配慮から輸入再開を急いだ日本政府への批判も強まっています。

BSE(牛海绵状脳症)とは?

「BSE(牛海绵状脳症)」とは、1986年に英国で初めて発見された牛の病気で、異常プリオンという特殊なタンパク質が中枢神経組織などに徐々に蓄積(潜伏期間は3~7年程度)した結果、やがて神経過敏、異常姿勢、麻痺、起立不能などの症状が現れるとともに、発症後2週間から6ヶ月で死に至るものです。感染した牛の脳の組織にスポンジ状の変化が見受けられることから、この病名が付けられたといえます。また、一般的には「狂牛病」とも呼ばれています。

その後、BSEは英国のほか、フランス、ドイツ、ア

都称其为“疯牛病”。

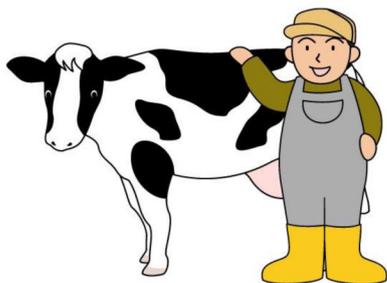
继英国出现 BSE 之后，法国、德国、爱尔兰、意大利、加拿大、美国等国家，也相继证实发生了 BSE。另外，日本于 2001 年 9 月证实发生了第一例 BSE 之后，至今共有 20 例病牛报告。

这种传遍世界的 BSE，被认为是由于采用了残存着 BSE 诱发物质的肉骨粉(将剔除食用肉后剩余的残碎肉、脑、皮、内脏及骨头等进行热处理，从而去除脂肪，之后压缩烘干、最终碾碎。再将玉米等谷物参进这种肉骨粉中，用作家畜的混合饲料、肥料或是充当宠物食品的原料)来作牛饲料而导致的。

BSE 是否能传染给人?

当人摄取了体内积蓄有异常型朊粒蛋白的、BSE 感染牛的特​​定危险部位之后，就被认为有罹患变异型克雅氏病(简称 v C J D)的危险性。虽然世界各国对这种疾病正进行着各式各样的研究，可至今为止针对 BSE 是否就是 v C J D 的诱因，仍然没有找到直接的证据(不过在动物试验结果中，已经指出了他的原因)。

据统计，变异型克雅氏病 (v C J D) 的患者人数为：英国约 150 人、法国约 10 人，除此以外，还有大约 170 名患者(其中美国、加拿大、日本各一人)分散在世界各地。(下期待续)



イルランド、イタリア、カナダ、米国などの各国での発生が報告されています。また、日本においても、2001年9月に初めてのBSE発生が確認されて以来これまでに約20頭の発生が確認されています。

このように世界各国にBSEが広がったのは、BSEの原因物質が残存した肉骨粉(食肉処理後に残ったくず肉、脳、皮、内臓、骨などを加熱処理して脂肪を抜き、圧縮乾燥し、粉碎して作る。トウモロコシなどと混ぜて家畜の配合飼料としたり、肥料やペットフードの原料にもする。)が牛の飼料として用いられたためではないかと考えられています。

BSEはヒトに感染するのか?

ヒトが異常プリオンが蓄積された BSE感染牛の特定危険部位を摂取すると、変異型クロイツフェルト・ヤコブ病 (v C J D) を発症するおそれがあるとされています。各国で様々な研究が進められていますが、今日までBSEがvCJDの原因であるか否かについては、直接的な確認はされていません(動物試験では、原因であることを示唆する結果が示されています)。

vCJDの発症者は、これまでに、英国で約 150 名、フランスで約 10 名のほか、世界各国で合計約170名(米国、カナダ、日本各1名を含む。)が報告されています。[次号に続く]

